

## 1. 実施概要

## (1) 目的

世田谷区は、平成 29 年 12 月に国の共生社会ホストタウンに登録され、「ユニバーサルデザインのまちづくり」、「障害者スポーツの推進」、「心のバリアフリー」を柱として様々な取組みを実施している。

今年度の心のバリアフリーに関する取組みとして、アメリカ代表のパラリンピアン（車いすラグビー）を招き、アメリカの先進的な取組みを学ぶとともに、商店街のまち歩き等によりまちの点検や人的交流を行うことで、障害理解を深め、共生社会の実現を目指し、「心のバリアフリー シンポジウム」を開催した。

## (2) 開催概要

### ① 開催時期及び場所

日時：令和元年（2019年）10月21日（月）13:30～16:00

場所：日本大学文理学部 図書館棟 3階 オーバルホール

### ② 名称

「共生社会ホストタウン」推進事業 心のバリアフリーシンポジウム  
—アメリカ代表パラリンピアン（車いすラグビー）とともにまちの点検を通して考える—

### ③ 主催等

主催：世田谷区

共催：日本大学文理学部

後援：世田谷区商店街連合会、アメリカ大使館

協力：下高井戸商店街振興組合

### ④ スケジュール

10:00 まちの点検（下高井戸商店街）

13:00 開場・受付開始

13:30 シンポジウム開会

- ・主催者挨拶／世田谷区
- ・共催等挨拶／日本大学文理学部、アメリカ大使館
- ・車いすラグビー説明、映像上映
- ・国際親善キャンペーン「Thank You, Japan（サンキュージャパン）」紹介
- ・第一部 講演（パラリンピアン チャック・アオキ選手）
- ・第二部 パネルディスカッション

16:00 終了

※なお、まちの点検の事前準備として、10月4日（金）日本大学文理学部学生による、下高井戸商店街のまちの事前点検を実施した。

### （3）参加者

#### ① まちの点検 参加者（下記登壇者と重複する方は除く）

- ・グリズデイル・バリージョシュア（Barry Joshua Grisdale）氏
- ・世田谷区重症心身障害児（者）を守る会 会長 村井 やよい 氏
- ・NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会理事長 大竹 博 氏
- ・NPO 法人自立の家 菊野 弘次郎 氏

#### ② シンポジウム

ア) 来場者 計 137 名

イ) 登壇者 ※挨拶以外の方の略歴は後述

- ・主催者挨拶 世田谷区教育長 渡部 理枝
- ・共催等挨拶 日本大学文理学部学部次長 岡 隆 氏  
アメリカ大使館 広報・文化交流部文化担当補佐官  
ケルシー・デリナルデイス 氏
- ・アメリカ代表パラリンピアン（車いすラグビー）  
ジョー・デラグラブ（Joe Delagrave）氏  
チャック・アオキ（Chuck Aoki）氏  
ジョシュ・ウィーラー（Josh Wheeler）氏  
チャック・メルトン（Chuck Melton）氏
- ・パネラー 下高井戸商店街振興組合 理事長 旦尾 衛 氏  
ラグビー元日本代表主将、俳優 廣瀬 俊朗 氏  
日本大学文理学部社会福祉学科 学生（視覚障害当事者） 瀧 楓花 氏
- ・コーディネーター 日本大学文理学部社会福祉学科 教授 井上 仁 氏

※グリズデイル・バリージョシュア（Barry Joshua Grisdale）氏は、急用のため欠席

#### ③ スタッフ

世田谷区 障害福祉部障害施策推進課、交流推進担当部交流推進担当課、スポーツ推進部オリンピック・パラリンピック担当課、都市整備政策部都市デザイン課 計 16 名  
日本大学文理学部 学生 13 名  
NPO 法人日本アビリティーズ協会 4 名

※登壇者略歴（当日配布資料にも掲載）

○ジョー・デラグレーブ（Joe Delagrave）氏  
（Wheelchair Rugby Classification：クラス 2.0）

1985 年生まれ。ウィスコンシン州ラシーヌ出身。  
ウィスコンシン州プレアリー・デュシェイン 在住。  
チーム/クラブ: Ability360 Heat



パラリンピック／2012 年ロンドン（銅メダル）  
世界選手権／2010 年（金メダル）、2014 年・2019 年（銅メダル）

2003-04 年にウィノア州立大学でフットボール選手として活躍。2004 年 7 月ボート事故に遭う。5 人兄妹（3 女 2 男）。既婚。Braxton, Brayden, Brynley の 3 人の子どもに恵まれる。趣味は、ハンドサイクリング、キャンプ、旅行、家族と過ごすこと。

○チャック・アオキ（Chuck Aoki）氏  
（Wheelchair Rugby Classification: クラス 3.0）

1991 年生まれ。ミネソタ州ミネアポリス出身。  
ミネソタ州ミネアポリス 在住。



パラリンピック／2012 年ロンドン（銅メダル）、  
2016 年リオ（銀メダル）  
世界選手権／2010 年（金メダル）、2014 年・2018 年（銅メダル）

遺伝性感覚性自立神経性ニューロパチーtype II のため膝から下と腕から下に麻痺があり、人生の大半を車いすで過ごす。11 年間車いすバスケットボール選手として活躍した後、2005 年の映画「マダーボール」（邦題「殺人球」は、車椅子ラグビーのドキュメンタリー）に影響を受け、2009 年に国際大会デビュー。2011 年に US Quad Rugby Association's Athlete of the Year（4 人制ラグビー協会最優秀選手賞）を授賞。全米の学校で Classroom Champions のメンバーとして子どもたちの指導も行っている。国際パラリンピック委員会のウェブページにブログ掲載。趣味は、クロスワードパズル、読書、「ゲーム・オブ・スローンズ」、歴史小説、ミネソタスポーツ。

○ジョシュ・ウィーラー (Josh Wheeler) 氏  
(Wheelchair Rugby Classification : クラス 2.5)

1980 年生まれ。カルフォルニア州サクラメント出身。  
アリゾナ州ツーソン在住。

パラリンピック／2016 年リオ (銀メダル)  
世界選手権／2014 年・2018 年 (銅メダル)

2006 年オートバイで走行中、車と衝突。首を骨折、下半身不随となり、右腕と手の一部も動かない。11 人兄妹 (男女 5 人)。既婚。スペイン語が堪能。



○チャック・メルトン (Chuck Melton) 氏  
(Wheelchair Rugby Classification : クラス 2.0)

1978 年生まれ。ケンタッキー州マディソンビル出身。  
イリノイ州リッチビュー在住。

パラリンピック／2016 年リオ (銀メダル)  
世界選手権／2014 年・2018 年 (銅メダル)

2002 年、ダイビング事故で C7 脊髄損傷。5 年後、車いすラグビーを始める。既婚。Allison, Bailey and Blake の 3 人の子どもの父親。趣味は、釣り、狩り、できるだけ家族と一緒に過ごすこと。



○グリズデイル・バリージョシュア 氏  
(Barry Joshua Grisdale)

カナダ生まれ。四肢まひ性・脳性小児まひにより、4 歳より車いす生活。高校卒業時に父親と一緒に日本に約 1 か月滞在。平成 19 年に来日し、平成 28 年に日本国籍を取得。都内で生活しながら、高齢者施設で勤務しアゼリーグループのホームページの Web マスターとして活躍しつつ、海外の障害者に向けた日本観光の英語情報サイトを運営するほか、これまでの知識・経験を生かし、国や自治体、企業が行うシンポジウムや講演会に参加する等、活躍中である。



○旦尾 衛（あさお まもる） 氏

下高井戸商店街は、江戸時代に甲州街道の第一宿場町として栄え、昭和47年に世田谷区で11番目の法人格を持つ組織として、下高井戸商店街振興組合を設立しました。

東西約700m・南北約500mに約300軒の店舗が軒を連ね食料品関係の店舗が多い「食の豊かな街」。商店街の中心に区立松沢小学校があり近隣の日本大学文理学部、日本大学櫻丘高校等がある「文教の街」。駅の東側にある映画館や「しもたか大さくらまつり（8月末）」、「しもたか音楽祭（10月末）」、「頑張れ日大！箱根駅伝順位当てクイズ（12月）」などの多彩なイベントを実施する「文化な街」。などの特徴があり、地域のコミュニティーづくりや安心・安全なまちづくりの担い手として、地域に愛される商店街です。



○廣瀬 俊朗（ひろせ としあき） 氏

5歳からラグビーをはじめ、慶応義塾大学に入学しラグビー部で活躍、その間、高校日本代表、U19日本代表に選出される。大学卒業後、東芝ブレイブルーパスに入団し、2007年に日本代表に初めて選出。その後2012年に再度、日本代表となり、主将に任命された。抜群のリーダーシップを発揮し、2013年には歴史的なウェールズ代表戦勝利の原動力となった。

2014年からはリーチマイケルにキャプテンの座を譲ったが、前回のラグビーワールドカップでも抜群の信頼感でチームを支えている。現在は、ラグビーワールドカップの解説など、ラグビーの普及啓発に取り組む他、俳優に挑戦するなど、活動の幅を広げている。



○瀧 楓花（たき ふうか） 氏

一般の小学校に通っていた8歳で錐体ジストロフィーを発症。視力の急激な低下により筑波大学附属視覚特別支援学校、東京都立文京盲学校と中学高校は盲学校に進学し、点字を習得。現在は日本大学文理学部社会福祉学科2年に在籍中。



○井上 仁（いのうえ じん） 氏

元東京都職員として児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所を経て2006年から現職。瀧さんとは、実習指導やフィリピン子ども支援ボランティアで一緒。負けず嫌いで、少し泣き虫ですが前向きに頑張る瀧さんを応援しています。

